

### 地域医療を守るために協議会を

#### 機会を設けるよう働きかける



藤井 英子 議員  
(平和環境社民クラブ)

**Q** 医師不足は深刻な問題を引き起こしている。行政だけの努力は限界にきており、地域の人がど

う医療を作っていくのが重要である。イーハトーブ病院と地域住民と市の三者で連絡協議会を作ってはどうか何う。  
**A (保健福祉部長)** イーハトーブ病院では、地域に根ざした病院となるため、職員が自治会に参加したり、病院が主催する

夏祭りに住民の参加を呼びかけたりしている。市としては、病院と住民、行政による話し合う機会を設けるよう働きかけていく。  
**Q 食育推進計画の状況** 計画は今年度中の策定であるが、内容として

は、食べることはいのちをいただくこと、食と農の大切さを市民に理解させ、分かりやすく取り組めるものにすべきと考えるが、進捗状況と内容について何う。  
**A (保健福祉部長)** 計画については、保健センターが主体となり、市や食育推進に関する機関で食育推進計画策定プロジェクトチームを設置した。このチームで会議を開き目標、具体的取り組み等について検討している。



保健センターでは食育の一環として、さまざまな形で正しい栄養知識の普及啓発に努めています (10/6 離乳食教室)

### 学校給食費の未納対策は未納対策基本方針を示し実施



小原 雅道 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 給食費の未納が多ければ回数を減らさなければならなくなる。給食費をまじめに納めた方たち

が納めない人たちの分まで負担するというのは、正常な姿とはいえない。給食費の収納率向上の対策はどうか何う。  
**A (教育長)** 対策としては、電話や文書による督促や学期末の面談等を行うほか、困窮世帯には就学援助制度の活用を勧め

ている。また、未納対策基本方針を示し、十分所得がある場合は、より督促を強化するとともに少額訴訟の提起など可能なものから実施していく。  
**Q 発達障害の早期発見** 発達障害は、多動性や学習障害を伴ったり、

また、人とのコミュニケーションが苦手なため引きこもりや不登校の引き金になることもある。幼児期における早期発見と適切な療育が重要だが、市の取り組みはどうか。  
**A (保健福祉部長)** 療育専門員等による巡回相談を実施し、発見時はこども発達相談センターで早期療育を行っている。しかし、相談件数が増えていることから、専門員の充実を含め子育て支援事業の充実にも努めていく。



子どもたちの発育のため、給食にはさまざまな食材が使われています (地元の雑穀や野菜が使われている給食)

### 雇用促進住宅廃止計画の対策は

#### 機構に対し具体的対策を要望



照井 明子 議員  
(無党派)

**Q** 独立行政法人雇用・能力開発機構が管理所有する雇用促進住宅の廃止計画が示されているが、

住宅に居住している方の現状ならびに影響および対策について何う。  
**A (市長)** 国が決定した合理化計画により、新規入居の停止と12月契約満了者の再契約中止となったことから、直近の本年12月に契約期間満了を迎える方から、民間住宅へ

の転居が進むものと思われる。雇用・能力開発機構に対し転居を求める方への情報提供などの具体的な対策を取るよう引き続き要望していく。  
**Q 「地球温暖化対策は** 域推進計画」「地球温暖

化防止対策実行計画」の考え方、取り組み方について何う。また、自然エネルギー導入についての考えを併せて何う。  
**A (市民生活部長)** 温暖化防止対策実行計画については、今年度内に計画を策定し、温暖化対策地域推進計画については来年度に本市に適した計画の策定を検討する。自然エネルギーの導入については、国の施策の動向を見極めながら検討する。



新聞紙やビンなど再生可能な廃品を再利用するために市内各地で行われている廃品回収 (四日町三丁目)

### 市長の海外出張の成果は何か

#### 交流促進で一定の成果得られた



櫻井 肇 議員  
(無党派)

**Q** 大石市長の8回にわたる海外出張の成果を伺う。さらにブラジル岩手県人会、韓国での昆虫工

キスポまで行かなければならない理由は何か併せて何う。  
**A (総務企画部長)** 従前からの継続性を踏まえ、改めて友好都市締結調印に向いたほか、ブラジルや韓国には招待を受けて出張したもので、市長が出向くことで市民

や学生の相互交流が行われ、人脈形成が図られるなど、観光面や産業面で新たな展開、可能性を追求していく観点からも一定の成果が得られた。  
**Q 公共交通基本計画** 市公共交通基本計画

案に対する市民の意見をどう受け止めているか。大迫、石鳥谷、東和の各地区について何う。  
**A (地域振興部長)** 大迫地区では民間路線との両立が可能な運行方法を検討していく。石鳥谷地区では予約応答型タクシーに期待が集まり、10月から試験運行を実施する。東和地区では予約応答型への期待もある一方、現行維持を望む声もあつた。今後も地域の皆さまと意見交換しながら最適の方向を決めていく。



平成20年10月2日から平成21年3月31日まで石鳥谷地区で試験運行される予約乗合タクシー